



昭和十三年 九月 一日

時局特報

(第三十八號)

極秘

臺灣總督官房外事課

主要資料名略號

	Canton Daily Sun. D.	C. D. S.
	China Weekly Review. W.	C. W. R.
	North China Daily News. D.	N. C. D. N.
	South China Morning Post. D.	S. C. M. P.
支 那	新 聞 報、 日、	新聞報
	申 報、 日、	申報
	廣東七十二行商報、 日、	廣商報
	廣州共和報、 日、	廣和報
	Manila Daily Bulletin. D.	M. D. B.
比 律 賓	Philippine Herald. D.	P. H.
	Tribune. D.	T.
	Opinion. D.	O.
印度支那	Courrier d'Haiphong. D.	C. d. H.
暹 羅	Bangkok Times. D.	B. T.
	Siam Chronicle. D.	S. C.
馬 來	Singapore Free Press. D.	S. F. P.
	Straits Times. D.	S. T.
蘭領印度	Bataviasch Nieuwsblad. D.	B. N.
	Soerabaiasch Handelsblad. D.	S. H.
其 他	Asie Française (Paris) M.	A. F.
	Economist (London) W.	E.
	France-Occident (Paris)	F. O. M.
	London Times. W.	L. T.
	New York Times. D.	N. Y. T.
	Nieuw Rotterdamsche Courant. D.	N. R. C.
	Statist. (London) W.	S.

(備 考) D.- Daily, W.- Weekly
日.- 日 刊

支 那 一

一、廈門陥落の咎で宋師長左遷

二、福建獨立の大黒柱李濟深、陸大校長を兼任

三、厦門兩居留民會特別委員の顔觸

四、厦門復讐者三萬六千人以上

五、廣州市婦女の軍訓總動員

香 港 九

一、澳門當局の抗議

二、澳門通過の日本機

三、澳門の道路計畫

華 僑 一

(マニラ)

臺灣總督官房外事課

一、厦門の敵軍検査に藉口し外客を蹂躪

：出國華僑に對しても麻酔劑注射を施さむとす

二、蔣委員長「支那に告ぐる書」の反響

暹 羅 二

一、華僑は暹羅人を搾取して禁榮す

馬 來 二五

一、支那は今後二ヶ年間持ち耐へやう

二、漢口より重慶脱出行

三、獨逸は支那向武器輸出を停止

四、パタビア・マニラ間空路實現行惱み

五、蘭印の不況は恢復しつつあり

六、支那人四百就職の爲めスレムバンへ來入

タイプライター用紙

- 七、新嘉坡—西貢間新空路
- 八、新任空軍司令官着任

臺灣總督官房外事課

タイプライター用紙

(日本標準規格B4)

支那

一、廈門陥落の咎で宋師長左遷

第七十五師長兼廈門警備司令宋天才は、廈門陥落後直ちに中央政府の監視下に置かれ、再び戦功を立てるまで、罪を一時許されることになった。廈門陥落の當時宋天才は漳州に駐屯し、廈門は同師第二二三旅長兼廈門警備司令代理韓文英が警備して居り、韓は一々中央の軍令に服従して行動した。最初「廈門死守」の軍令に接するや、韓は第七十五師部隊を指揮して英勇に抗戦し、自ら負傷する程奮戦した。

次いで「廈門撤退」の命令を受けて始めて漳州方面へ後退した。軍法上から云へば軍令に違はなから、随つて廈門失陥も無罪であるべき筈の處、宋は一軍の首腦者として其咎を辭し難き理由を以て、中央は今回宋を軍政部中將參謀に左遷し、後任師長

臺灣總督官房外事課

兼警備司令に韓文英を拔擢任命した。(七・二七一新報)

二、福建獨立の大黒柱李濟深、陸大校長を兼任

李濟深(雅號 任潮)は一九三二年十九路軍を中心とし、陳銘樞も反蔣一派と共に福建人民革命政府を樹立し、自ら主席となつて福建獨立を計りたるも、翌一九三四年一月其計畫が失敗し、国民政府も誤解したることは、世人今尙記憶に新たなところである。

爾來李は海外に亡命し、政治に干與せざりしこと數年に及んだが、昨年「七七」事件の戦端が啓かるや、李は奮然歸國し官職の高下はどうでもいから一國民として抗戦に参加さして呉れと中央に要請した。中央も其熱意を揃み、恰も晋南(山西南部)軍事の急を告ぐる時、李を晋南抗戦隊に振向けた。李は當年に劣らざる英勇の作戦を以て屢々戦功を建て、殊に娘子關一

タイフンインキ用紙

役に於ける李の勳功は永く戦史に残すべきものである。其後晋南より漢口に轉戦し、先月又〇〇區司令に拔擢されて湖南に入り〇〇地方一帯の警備に當つてゐる。

尙中央陸軍大學校長楊耿思は今回外蒙の重要軍職に榮轉したので、中央は便宜上同校の近隣地方に駐在してゐる李済深を代理兼任に任命した。李は今更ら陸大校長に格下げする様な人物ではないが、前述の如く李は官職の高下を問はずして、一意抗戦前途を専念してゐるから、直ちに之を受諾し國民の好評を得しめてゐる。

(七・二八―新報)

三、厦門兩居留民會特別委員の顔顔

在厦門日本總領事館は復讐以來同地日本、臺灣兩居留民會の機構を一層強化せしむべく考慮中の所なるも、現に未だ復讐しない者及新渡來者の多きに鑑み、遂に或る一定の時期までの間に

臺灣總督官房外事課

暫定的特別委員を設置することと爲し、昨二十日總領事館より指名されたが其顔顔は次の如くである。(從來兩居留民會の幹部は之を議員と稱し、一部官選の外大部分は會員の無記名投票による民選である)。

日本居留民會特別委員

- 池 本 義 憲 玉 井 元 藏 今 田 榮 徳
- 立 石 成 季 原 庸 務 中 津 賢 一
- 竹 藤 峰 治 阿 部 智 義 高 橋 近 信
- 澤 重 信 高 桑 喜 作 庄 司 徳 太 郎
- 大 間 知 林 藏 上 原 寅 太 郎 (十四名)

臺灣居留民會特別委員

- 陳 基 藤 嘉 和 陳 春 亭
- 蘇 水 秀 陳 其 昌 高 樹 藏
- 陳 鹽 黃 福 成 林 熊 祥

タイプライター用紙

蔡世興 林平城 蔡吉堂
 李啓芳 許恩錫 何興化
 謝阿發 簡士元 周乞食

(十八名)

(八・二一―全圖新日報)

四、廈門復歸者三萬六千人以上

八月十五日までの廈門復歸者は中國人三六、二二四名、臺灣人一、三七七名、合計三七、六〇一名、此中十日より十五日まで六日間の復歸者内譯は次の通りである。

	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日
中國人	四〇五	一〇三	二五七	二八三	五八	三二〇
臺灣人	四	一	一	五	一	九

(八・一七一―全圖新日報)

臺灣總督官房外事課

五、廣州市婦女の軍訓練動員

廣東特約通信―廣州市社曾軍訓練總隊部では、同市の婦人訓練を急速に施行し以て全國總動員の使命を完成せんが爲、今馬婦女後編暫行辦法を制定し、中央國民軍訓練委員會の認可を経て施行したが其内容は大要次の如くである。

一、凡そ本市に居住する年齢十六才以上二十五才までの婦女にして、在學中の學生及特定規定あるを除く外の者は、總べて召集に應じ軍事訓練を受くるを要する。召集は順番に期日を指定し、訓練は等級を分ちて之を行ふ。

一、前項適齡婦女の調査、登録は總部隊の命令に依り、在營中の婦女訓練隊學生と各區社訓練隊が保甲及警察の協力を求めて之を行ふ。

一、訓練免除は左記條件に該當するを要する。

(1) 不具又は發育不完全にして訓練に堪えない者

タイフンイター用紙

- (2) 心神喪失の者
 - (3) 曾つて婦女訓練を終へ而して訓練證書を授與された者
- 一、訓練猶豫の條件は如左
- (1) 現在公務員
 - (2) 現在學校教員
 - (3) 在學修業中の者
 - (4) 父兄又は夫と一しよに本市以外の其任地に在留し未だ歸附しない者
 - (5) 刑事未決犯或は受刑中の者
 - (6) 修學二ヶ月以上或は分後二ヶ月以内の者
- 一、訓練の免除或は猶豫を請求する者は申請書に該條件の說明書添附を以て戸主或は職業團體により總務部の許可を受けることを要する。

(七・三一ノ文圖表)

臺灣總督官房外事課

タイプライター用紙

一、澳門當局の抗議

澳門、八月十五日發一當局は澳門防備の一部を成すタイバ島要塞地帯上空を最近二回に亘り飛翔せる日本飛行機の行動に關心を有し、日本軍當局に對しこの行動を絶止することを要求する強硬な抗議を提出した。日本軍當局は右抗議を認め、葡萄牙領土の侵犯に對し遺憾の意を表した。因みにタイバ島は飛行場の所在地である。

(八・一六・一五・〇・M・P)

二、澳門通過の日本機

澳門、八月十三日發一本日、日本機の活動は繁劇を極めた。日本機が支那本土へ飛來する時及びLaddrone、若くは三冠島に在る基地へ還る時、發動機の低い爆音が数度に亘り澳門に於て

臺灣總督官房外事課

も明瞭に聴取せられた。天候は概して曇天であり、機影は必ずしも認められなかつた。しかし比較的機影を認め得た支那領土内の觀測者は或る場合には七十五機より少なからざる日本機が空中に算へられたことを報じて居る。

(八・一六・一五・〇・M・P)

三、澳門の道路計畫

澳門、八月十五日發一澳門當局は道路工事に着手し、Queen Chan 汽船埠頭舊グレイハウンド路線間のバンド路面を舗装するため工事の現場監督者を招聘しつつある。この道路が完成すれば澳門半島を殆んど一網も美裝道路の素晴らしいドライブが可能になる。なほ海面地先埋立大工事に関し計畫は着々進行しつつある由。

(八・一七・一五・〇・M・P)

タイフンイター川紙

華僑

(マニラ)

一、廈門の敵軍検査に藉口し外客を蹂躪

一 出國華僑に對しても麻酔劑注射を施さむとす

廈門は南支の重要な都市であつて福建と南洋との交通貿易の中心地を爲し又華僑出入の必らず經由すべき重要地である。往時廈門と南北支那との沿岸航路には日本、英國、支那及荷蘭の四國船舶が互に競争し船賃が安く、又廈門と泉州との間には順安及順昌の小蒸汽船が航行し更に又廈門と温州並に興化との間には泰利公司の駕蒸及鷺江號が航行してゐた外帆船も隨時隨所に来往し届たるが昨年夏日支戦端が開かれ支那全國に對日抗戰が展開して以來日支船舶は遂に休航するの止むなきに至り廈門と南北支那との沿岸航路は殆んど英國及和蘭船舶の獨擅場とな

臺灣總督官房外事課

つてしまつた。又廈門近海は其の後知らず識らずの間に敵艦の封鎖するところとなつたから平素廈門と温州並に興化との間を航行する大小汽船も亦全部休航を餘儀なくされるに至つた。然れ共廈門と福州並に泉州との間には當時尙ほ陸路バスの利用に依つて來往することが出來たが、最近廈門が敵軍に占領されて以來、同地は宛然自國駐防軍に周圍より封鎖されることとなつたから茲に南支相互間の交通は著しく阻害されるに至つた。和蘭船は旅客並に貨物の關係に依つて已に航路を短縮したから最近の廈門を中心とする沿岸並に遠洋航路は殆んど英商パターフィールド及ジャーデンの獨占するところとなつた。福建省出身の華僑は此の頃出國するに當つて常に水陸交通の不便困難を歎いてゐる。

駐廈日本領事内田は六月十五日其の走狗許希年をして公文を携行、在廈門のジャーデン以下各國汽船會社を歴訪せしめ今後

タイフンイター用紙

の船舶検査に付打合しめるところがあつたが前記公文に曰く「支那の海港検査所は已に機能を停止してゐる。惟ふに厦門は我が皇軍の手に依つて占據されるに至つたから厦門一圍並に其の沿海領水は當然帝國の管轄區域となつた譯である。就ては六月十八日以降厦門に出入港し又は寄港する船舶は一律須らく本國醫師の検査を受くべきである云々」と。然れども各國汽船會社は孰れも態度決定し難い態であつて強ひて之を對手にしない積積であるが、當日和蘭船某號の如きは日本醫師の採購を避けたいが爲めに午后四時の出帆を同二時に繰上げて出港し且つ其の際は泰西醫師の検査を受けただけで雨下の途に就いた次第である。其の直後日本醫師は検査に同船に急行したものの全然間に合はなかつた爲めに日本領事は所屬汽船會社に對し手厳しく苦情を申入れたるも同社は風馬牛の態度を執つてゐたと云ふ。然らずるに、厦門海港検査所は從來豫防注射料として華僑より一

臺灣總督官房外事課

當り國幣一元を徴收して來たが、厦門の陥落後は遂に事務を停止するの止むなきに至つた。當時共同租界の工部局並に各國領事團は會て已に佈告を出し、又は銅鑼を鳴らし依て以て出國せむとする華僑連に對し凡そ出國に際しては歐米醫師乃至救世醫師の豫防注射を受ければ効力を認められる旨通知するところがあつた。事情右の通りであるから倭寇の争つて止まない所は畢竟此の種一元の注射料であるに過ぎない。

最近日本側當局は又復た華僑團體並に旅人等に對し華僑は出國に先立ち須らく指定の醫師に付種痘乃至豫防注射を受けなければならぬと通告した趣であるが、反之出國華僑は未だに倭寇の毒針を防ぎたい見地の下に大部分麻酔劑の注射を惧れ慄々しく日本醫師の検査を受けむともしない。聽くところによれば多くの華僑は泉州より長距離バスにて福州に出で同地で船待ちをしたらる上パターフィールド社船で香港へ直航し更に南洋航路船に

乘機へて南下する方法を執りつつある由。

(六・三〇一新聞日報)

二、蔣委員長「友邦に告ぐる書」の反響

マニラ新聞日報は七月十五日附を以て蔣委員長「友邦に告ぐる書」の反響と題し大要左記の通り時評を掲げてゐた。

蔣委員長は七・七抗戦の一周年記念日に「友邦に告ぐる書」を發表したが、其の文中に最も熱烈真剣にして警告的な一節に曰く「……誓つて衆善の武力を中國の領土外に驅逐掃蕩し新中國の建設を完成すると共に諸友邦と協力して人類の幸福増進並に世界平和の再建に努力すべきである……云々」と。此の一節に觀ても支那抗戦の力最是正に無限大であつて其の上底止するところを知らない所以を證明するに足りるであらう。又諸善の諸友邦並に侵略に反對の諸人士は平和は元來不可分の

臺灣總督官房外事課

ものであつて孤立に到る其の存在を許されないことを熟知するであらう。斯るが故に日本の侵略を一瞬時でも制止しなければならぬ。乃至世界の平和は即ち一日でさへ之を維持することが出来ぬ。世界の正義並に國際間の盟約が嚴肅に遵守せられ人類の幸福及世界の文化が極力増進保持せらるべきであることは實に國際方趾の類たる吾人の共通の責務である。

此の種「友邦に告ぐる書」は全世界の人士に對し國際方趾の聲は唯だ敵寇の侵入を防止するに依つてのみ人類の幸福並に文化の保全を期待し得べきである所以を告げたのである。而して「善は言辭こそ簡單であつたけれど意義は仲々深刻であつて、民主的國家の國民が感動を受けたるは勿論の事であらうし又フアンスト國家の獨逸商人でさへ黙々として之を看過することが出来たであらう。近着伯林發のルーター電所報に據れば支那僑胞の獨逸人等對面は嚴時獨逸政府に對し祖日政策を執るなど

極力勸告したものの未だ政府の採擇を得るに至つてゐない模様で又最近上海獨逸商業會議所も同一の勸告を爲した趣であるが彼等の見解に依れば獨逸の日支戦争前に支那に占めてる優越な地位は完全に之を失ふに至つたが例せば日本軍の占據地域に於ける獨逸商社の商取引は著しく阻害されたのみならず支那國民は獨逸政府が祖日政策を執りつつあるの故を以て獨逸商品のホイコットを始めてゐるが如きであると。

獨逸商人の斯かる意思表示は固より切膚の痛に出でたものと視られるが同時に又蔣委員長の感化を渺なからず受けた爲めであるとも思はれる。唯だ爰に率記すべき一事はフアシスト獨逸政府は元來均しく文化を破壊し暴虐を揮にする輩であるから獨逸國の民主制度が改めて樹立された曉でなければ獨逸政府をして平和線上に戻らしめることが出来ないのである。吾人は在支獨逸商人否獨逸全國民に對し斯かる前進一步の認識を保有すべきことを希望する。

臺灣總督官房外事課

(七・一五―新聞日報)

三、陳濟棠近く北上國防會議に出席 ―張學良依然衡山に隨書に耽る

(廣東通信)―支那中央政府委員陳濟棠は曩に北上漢口に逗留中であつたが總般其の夫人莫秀英が香港に於て罹病中との通知に接した爲め區芳浦及李揚敬の兩中央委員と手を携へ先日同地より飛行機にて南下來港した。然るに中央政府は陳濟棠が現に國民政府中央委員並に國防會議常務委員に任ぜられ居り政府當局は國防要政整備の爲めに繰ねてより期日を定めて國防會議召集中でもあるから過日特に電報を以て頼りに其の北上を促すところがあつた。今回陳濟棠側近者の言ふところに依れば彼は其の夫人の病氣も漸次快方に向ひつつあるに鑑み近く廣東より飛行機にて北上する豫定であるとのことであるが他方同行南下

中の區李兩委員は依然香港に踏み留まり居りまだ確乎たる北上期日を聽かない。林委員翼中は漢口に於て禁煙要政に任じてゐる爲め未だ廣東へ歸らず中央委員張學良に至つては曩に陳濟棠と共に入川し全國國民黨代表の臨時會議に出席したとの情報もあつたが結局は一片のデマに過ぎなかつた。學良は依然衡山に踏み留まつて毎日讀書に耽けり外部との接觸は極めて少ないから其の最近の動靜は大部分の人が之を知らない所以である。

(七・一二一新聞日報)

臺灣總督官房外事課

暹羅

一、華僑は暹羅人を搾取して繁榮す

盤谷タイムス紙は最近廣く頒布された面白からざるパンフレットの^一として、左の如き該パンフレットの抄譯を記載してゐる。

「暹羅同胞よ！華僑は吾々の仕事と食物を搾取せんが爲に、一個の枕と一枚の蒲を携へて我が愛する國土に流入せるものである。實に彼等華僑は我々タイ民族より總ゆる生活の手段を奪取せんとしつゝある者である。」

華僑の手に依つて建設された暹羅國の經濟が何一つとしてあるか？常に彼等は暹羅人の着手せんと企つるものに着目してはその中に割込み、競争して自分のものとする。

我々暹羅人は如何なる商企業をも營むことは出來ない。華僑

臺灣總督官房外事課

が常に我々の進出を阻害しようとする構へてゐるからである。

暹羅人農夫は絶大なる^{以つて}耕作する。然るに仲買人は總て交那人に依つて占められてゐるが故に、我々は彼等の勝手に定むる値段に依つて收穫物を引渡すより他はない。彼等はまるで我々暹羅の百姓の肩の上に坐つて肥え太つてゐるのではないか！

而も此等の米取扱ひの華僑は、米の一袋當り一銖の割合で華僑學校維持費として強制徴取されてゐる。従つて彼等商人の定むる米價中には此の高價な割當が織込まれてゐるが故に、暹羅農民は華僑學校の維持發展の爲に納税してゐるやうなものだ。財政顧問（英國人）報告書中には、華僑の本國送金は年三千七百萬銖に上ると、明確に指摘してある。

我々の三輪車運轉手（暹羅の人力車代りの交通機關）も非常に惨めな搾取を蒙つてゐる。即ち華僑資本家が三輪車を大量に

タイプライター用紙

に購入し、之を一日一台三〇乃至四〇士丹（一士丹は約一錢六厘）にて華僑の親方に賃貸し、此等親方は暹羅人運轉手に七〇乃至八〇士丹にて又貸する仕組みになつてゐる。（運轉手は暹羅語の試験を課することになつた爲め新渡航華僑の大部分に依つて占められた本職業は暹羅人に奪はれた）。

其他此の種の事例は枚舉に遑ないが、次に我々の怠るべからざることは、議會に於て華僑に對して有利な發言をする議員のリストを作ることと、華僑支持の言論を掲ぐる新聞紙のリストを作成することである。更に我々は「ナイ・リアン」を謝絶した偉大なる愛國者達の名を記憶し、此等勇士の行爲を常に心版に留むべきである」。

本記事の末尾には次の如きタイムズ紙の批評が添へてある。「此の種の言論は何等愛國的なるものでもなく、又暹羅の信用を高める所以でもない。華僑は他の外國人と共に暹羅に貢納

臺灣總督官房外事課

する偉大なるものであることを我々は極言するものである。

暹羅人が現在以上に多くの職業に従事する必要あるは論なきところであるが、之は拒否された爲めに生じた現象ではないのであつて、今後漸進的に多くの仕事に従事すべく努力すべきである。最後に、暹羅の今日あるは、華僑をはじめ外國人の力に負ふところ大なるが故に、政府は努めて此等の外力と親善を保つ政策に出づるを賢明の策なりと言ふべきである。

(八・八一B・T)

一、支那は今後二ケ年間持ち耐へやう

若し日本が南支那に有效なる戦争に乗出すものとすれば、十五萬の軍隊を要するであらうと、事變勃發以來從軍の上今回歸國の途次來星のデーリ・エキスプレス紙（倫敦）特派通信員（H. Hessel Tiltman）は意見を發表した。

支那は恐らく武勇にも拘らず敗戦するであらう。が併し他方日本の勝利を妨害するにはいと頑強で、日本が再建するに一代を經るであらうと。

日本軍は海南島占領の意途を放棄したと。最近の倫敦及巴リのステートメントは東京に慎重なる印象を與へ、目下東京に於ては英佛協商（一九〇四年）はドーバー海峡より海南海峡に擴及したと認識されるに至つた。

臺灣總督官房外事課

予は今大戦争に關し二つの豫言をする。一は、日本が最小限更に一百万一其の一半は聖壕戦に、他の一半は連絡戦を遮断せんとするゲリラ軍の備へとして一を動員することとなるであらう。

第二の豫言は支那は最小限、更に十二ケ月間、恐らくは今後二ケ年間持續するであらう。右は日本が今事變に尤に今後七十億圓を消費せねばならぬ破目に追ひ込まれてゐる。

現在の戦争は日露戦争當時の七倍の軍費を必要とする。併し今日迄日本の戦果に付概述すれば、過去十二ケ月間に日本帝國の二倍の領土を占有し、被占領地帯の鎮撫は完了してゐない。支那の新軍隊（所謂支那の新軍隊の兵力は三百萬と推算され、舊き特來空軍は一層重大なる役割を演ずるに至るであらう。防衛計畫の重要部分には現在露西亞より兵員及武器を合して六〇〇と推定される。

タイプライター用紙

The Far East Comes Nearer 「極東は愈近接し来る」及極く最近には The Unensured Far East 「亂賊の極東」の著述者、ナイルトマン氏は當初より現地において今事變を目撃し、昨年八月 Hankow Pass 戦闘に従軍記者たり其後上海及南京に六ヶ月間滯留し、爾來各地を飛び歩き、倫敦に於て長時日に亘り可なり澤山な一面に挿入すべき實話を極力漁つたと。

(八・一〇一B・T)

二、漢口より重慶脱出行

漢口よりの脱出行は引續き行はれ、佛蘭西、和蘭及伊太利各領事館は重慶に移轉した。

軍務及交通省を除く國府各省は先週重慶に移轉し、一般市民は最近數日間逸早く都市を離散しつつある。

河代船は一日平均三千人を奥地へ運搬して居り、漢口及宜昌

臺灣總督官房外事課

の目貫きの商店街は殆ど全部空虛となつた。

日本軍が漢口を占領破壊の目的物としてゐることは空爆回数が次第々々に増激して行くのによつて明白である。

爆撃機二七台、戦闘機三六台編隊の下に昨土曜日都上に爆弾一〇〇個以上の雨を降らせた。其の大半は飛行場及附近に落ち爆撃機一台は高射砲弾により墜落せしめられたと(アネタ・トランス・オーシアン)。

(八・一〇一B・T)

三、獨逸は支那向武器輸出を停止

獨逸は日本の爲め對支軍需品輸送を全く停止したと、國民政府重要會議の一員にして、英國及米國へ宣傳の爲め行脚中の W. Chien 博士は語つた。

支那に於ける商業上の權益を有し、獨逸國民は支那に對して友好的であるが、伊太利のファシスト政府と共同してナチス黨

タイプライター用紙

は防共協定のため日本を支持してゐる。

英國及米國に於ては到る處。支那に對して深刻な同情を有せらるるのみならず戰爭中絶の正眞の希望を寄せられ居るを見出した。

米國は熾烈に反ナチス及反ファシストで、昨年中孤立の政策を放棄したと。ローズベルド大統領が政治的勢力を恢復すれば紛争を中止せしむる爲め勸策されるに至るであらう。

米・英兩國に於て、C. F. H. 博士は數回日本大使館外で反日デモを見た。

最近數ヶ月間、東亞に於ける戰爭が正に大戰爭の前奏曲で、これ以上局部的戰爭ではないとの意見が英國及佛蘭西に於て著しく擡頭し來つつあると附言した。

斯の如き意識こそ餘り遠からざる將來東亞に於ける國際情勢を左右する事となるであらうと。(八・一〇・S・T)

臺灣總督官房外事課

四、パタビア・マニラ間空路實現行儀み

パタビア、八月五日

米國陸軍省はパタビア・マニラ間航空路に對する王立蘭領印度航空會社實施案延期に關し責任を有するものと信ぜられる。

比律賓側に於ては蘭領印度間に航空連絡に熱意を有してゐるが、米國側は亞米利加國防上の見地から猶ほ頗る重要と思はれる領土に外國航空線の飛翔を許可することに反對意見を有してゐる。

北大西洋に於ては汎米航空(P.A.A.)及帝國航空(I.A.)兩社間に友好關係あるに拘らず、比律賓外國航空線禁止は又香港より比律賓及英領北ボルネオ經由新嘉坡向けの帝國飛行艇航路開通に障礙を與ふるものと云はれてゐる。

(八・八・S・T)

五、蘭印の不況は恢復しつつあり

副領印度に於ける局部的不況は漸次恢復しつつあると、和蘭植民省經濟部 D. H. O. Hart は語つた。

同氏は會て蘭領印度經濟省長官の職にあり、今回爪哇へ旅行の途次寄星したもので、和蘭は蘭領印度防備のため出來得る限り急速に軍用機を輸送してゐる。

歐洲出發の際、我々國民は總て將來に樂觀的曙光を見出したと語つてゐる。

十七年間滯爪中、同氏は行政官としての名聲噴々たるものあり、數年以前には南京に國府首腦者に面接したことがある。

(八・一〇一B・T)

六、支那人四百就職の爲めスレムバンへ來入

スレムバン、八月八日

マンネイン方面の蔬菜園丁と思はれる支那人成年男女四百名

臺灣總督官房外事課

が華民事務處へ押しかけたが、失望して歸つて行つた。右は同方面に於て華民事務處官吏が仕事を與ふるとの報道が流布された爲めで、該官吏は右は正しからざる報告で、本官としては何等巧術なき旨懇々と諭して夫々歸還せしめたとの事である。

會て同君はマンネイン方面に失業支那人タツパに道路仕事を與へたことあり、本年一―六月間即ち現行移民制限制當實施前、數多未婚婦人來着し、蔬菜園に就役したるもの多かつた由。

(八・九一B・T)

七、新嘉坡―西貢間新空路

王立蘭領印度航空會社は愈々八月三十日を以てパタピア―新嘉坡―西貢間を連繫する航空路を開設するところ成り、茲に新嘉坡と佛領印度支那は新たに空輸連絡が出来る様になつた。使用機はダグラス型 D O 一二で、K N I L M 社は週一回直航

タイプライター用紙

するであらう。

新嘉坡には火曜日午後及同夜滞留する代りに、毎週火曜日早朝パタビアより新嘉坡向定期は西貢行となり、同夜は同地に滞在、水曜日には歸還飛行をなす豫定である。

かくて新線の開航により利用者は一段と利便を享受する譯で、新嘉坡より西貢行旅客は開機に乗るか、又は盤谷までエールフランス機を選び、陸路アンコール・ワット廢墟を見物したる後、IA飛行機にて新嘉坡に歸還することが出来る。而して之が全行程二、三日で旅行することが出来る。

即ちKNILM社ダグラス機にて火曜午前八時（地方標準時間）パタビア出發すれば、正午新嘉坡着、半時間後同地發午後四時四十分には西貢に到着する。復航には午前七時半西貢より出發すれば午後〇時二十分には新嘉坡到着、同五十分パタビア向發五時十分には着巴する。

(八・一二一B・T)

臺灣總督官房外事課

八、新任空軍司令官着星

倫敦、八月十一日空軍司令官L.H. Babbington は極東王立空軍司令官A.E. Hodder 後任として九月九日着任することになつてゐる。

(八・一二一B・T)